

概要

1. 卒業研究の要件
2. 論文の構成
3. 工程表
4. ゼミ報告

1. 卒業研究の要件

- (1) 個人研究 20,000字以上. 共同研究は1人14,000字以上.
- (2) 原則として, ゼミで報告した内容に限る.
- (3) 4年ゼミ合宿において「分析」の章を報告する.

2. 論文の構成

- 1章 はじめに 研究のテーマ, 動機, 論文の構成などをまとめる.
 - 2章 現状 テーマに関連するデータを図表にまとめる. 制度の紹介.
 - 3章 先行研究 分析のベースとなる先行研究を紹介する.
 - 4章 分析 論文のキモ. 先行研究と比較できるように.
 - 5章 おわりに 論文の総括および展望
- 参考文献

3. 工程表

- 4年春学期 先行研究の報告(3章)
4年秋学期 先行研究の報告(3章), 分析結果の報告(4章)
2022年12月 ゼミ合宿(2泊3日)
2022年12月20日(火) 卒論提出(ゼミ)
2023年1月 最終稿提出(事務)

4. ゼミ報告

- パソコン, モニタを使って報告する(報告20分, 質疑応答20分).
報告用ファイルは, USBに入れて持ってくる(ネットワーク利用不可).
報告要旨と資料(数枚)を人数分用意すること. 別紙参照.
元資料のコピーを教員用に用意すること.

1. サーベイ対象

内閣府「令和3年版 少子化社会対策白書」

第2部 少子化対策の具体的実施状況

第1章 重点課題

第2節 多様化する子育て家庭の様々なニーズに応える

4. 子育ての担い手の多様化と世代間での助け合い

に次のような記述がある（資料）。

（家族における世代間での助け合い）

2015年11月26日に一億総活躍国民会議において取りまとめられた「一億総活躍社会の実現に向けて緊急に実施すべき対策－成長と分配の好循環に向けて－」において、「家族の支え合いにより子育てしやすい環境を整備するため、三世代同居・近居の環境を整備する」とされ、三世代同居など複数世帯の同居に対応した住宅の整備及びリフォーム工事への補助、リフォーム工事を行った場合の所得税の税額控除の取組を行っている。（111ページ）。

2. 予備的調査

合計特殊出生率と老年人口指数（都道府県別）（表1，図1）

- 高齢化率が高いほど，出生率が高い。
- 高齢化率が同じ都道府県を比較すると，西日本の方が出生率が高い。
- 沖縄と秋田は傾向が異なる。

3. 今後の課題

- 高齢者が多いと，出生率が高いのか。因果関係は？
- 西日本の方が出生率が高い？
- 三世代同居は少子化対策として有効か？

参考文献ほか

内閣府「「令和3年版少子化社会対策白書」

<https://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/whitepaper/index.html>

総務省統計局「統計でみる都道府県のすがた2022」，2022年。